

聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：20単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
1	ソーシャルワーク演習A（精神）	3	1	谷口 恵子	小学校・中学校の相談員 児童相談所の被害確認面接員	小学校・中学校での相談員と児童相談所での被害確認面接の面接員としての実務経験をもとに専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。 精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ① 総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。 ② 個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレーイング等）を中心とする演習形態により行うこと。 ① 次に掲げる具体的な課題別の精神保健福祉援助の事例（集団に対する事例を含む。）を活用し、実現に向けた精神保健福祉課題を理解し、その解決に向けた総合的かつ包括的な援助について実践的に習得すること。（社会的排除、退院支援、地域移行、地域生活継続、ピアサポート、地域における精神保健（自殺、ひきこもり、児童虐待、薬物・アルコール依存等）、教育、就労（雇用）、貧困、低所得、ホームレス、精神科リハビリテーション、その他の危機状態にある精神保健福祉） ② アに掲げる事例を題材として、次に掲げる具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技指導を行うこと。（インターク（受援面接）、契約、アセスメント（課題分析）、プランニング（支援の計画）、支援の実施、モニタリング（経過観察）、効果測定と支援の評価、結核とアフターケア） ③イの実技指導に当たっては、次に掲げる内容を含めること。（アウトリーチ、ケアマネジメント、チームアプローチ、ネットワークング、社会資源の活用・調整・開発）
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（精神）	3	1	相川 章子	精神保健福祉士	精神保健福祉士としての精神障害者や家族に対する相談援助の経験を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。 ① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。 ② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 次に掲げる事項について個別指導及び集団指導 ① 精神保健福祉援助実習と精神保健福祉援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義 ② 精神保健医療福祉の現状（利用者理解を含む。）に関する基本的な理解 ③ 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解 ④ 現場体験学習及び見学実習 ⑤ 実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術に関する理解 ⑥ 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解 ⑦ 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解（個人情報保護法の理解を含む。） ⑧ 「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関する理解 ⑨ 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成
3	健康・医療心理学	2	2	和氣 大成	医療機関における心理士勤務	精神科病院および総合病院に勤務した経験をもとに、現代人の生活様式、疾病との関連性、ストレスケアの実態について言及し、心理士の観点から理論的・実践的知識を教授する。 人間にとっての健康とはいかなるものか、健康心理学が目指すもの（健康の回復・維持・増進・疾病の予防を考え、生活習慣や行動などの改善をはかり、生活を豊かにしていくこと）を理解し、実践する手がかりを学ぶ。 健康には「肉体的、精神的、社会的、重量的」の4つの側面がある（WHOの定義による）。 本授業では、健康生活に関わる心理（主に精神的・社会的側面）の基本的理解を深め、さらに健康生活（健康維持行動）を構築、支援するための心理学的理論を学習する。 また、健康教育に関する教材を作成することにより、実践に関しての理解を深めていく。
4	社会・集団・家族心理学	1	2	西村 洋一 村上 純子	心理士	心理士として、実際の現場での、心理面接、心理アセスメント、心理療法を行った経験をもとに、具体的事例の提示を通して理論的・実践的知識を教授する。 この授業は、社会心理学、集団心理学、家族心理学といった、個人ではなく、複数の人を対象とした心理学を取り扱います。 人は複数になるとお互いに影響し合い、個人とはまた違った考え方、感じ方や、行動をするものです。それらの基本的な事柄を押さえていきますので、人間関係や集団、社会について考えるための知識を学び取ってください。 1. 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 2. 人の態度及び行動 3. 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響 これらのことを学んでいきます。

聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：20単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
5	ソーシャルワークの基盤と専門職(社会)	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	精神保健福祉士として、精神障害者や家族に対する相談援助の経験をふまえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。 ①社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 ②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ③ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。 ④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。 ①ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲 ②ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク ③総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容
6	ソーシャルワークの理論と方法B	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	精神保健福祉士としての精神障害者や家族に対する相談援助の経験を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。 ①人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 ②ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 ③ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 ④コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 ⑤ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。 ①人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク ②ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチ ③ソーシャルワークの過程 ④ソーシャルワークの記録 ⑤ケアマネジメントの原則と意義 ⑥集団を活用した支援 ⑦コミュニティワークの概念とその展開 ⑧ソーシャルワークにおけるスーパービジョン
7	精神障害リハビリテーション論	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	精神保健福祉士としての精神障害者や家族に対する相談援助の経験を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。 ①精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。 ②精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。 ③精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連について理解し、援助場面で活用できる。 ①精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則 ②精神障害リハビリテーションの構成及び展開 ③精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関 ④精神障害リハビリテーションの動向と実際

聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：20単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
8	社会福祉の原理と政策	1	4	元田 宏樹	地方公務員	都道府県職員として福祉行政に携わった実務経験を活かし、福祉政策や制度について具体的事例をあげて授業を行います。 ①社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 ②社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 ③社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 ④福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 ⑤福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 ⑥福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 ⑦福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。 ①社会福祉の原理 ②社会福祉の歴史 ③社会福祉の思想・哲学、理論 ④社会問題と社会構造 ⑤福祉政策の基本的な視点 ⑥福祉政策におけるニーズと資源 ⑦福祉政策の構成要素と過程 ⑧福祉政策の動向と課題 ⑨福祉政策と関連施策 ⑩福祉サービスの供給と利用過程 ⑪福祉政策の国際比較
9	社会保障論	2	4	元田 宏樹	地方公務員	都道府県職員として福祉行政に携わった実務経験を活かし、社会保障の各制度について具体的事例をあげて授業を行います。 ①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 ③社会保障制度の財政について理解する。 ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。 ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。 ①現代社会における社会保障制度の現状（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。） ②社会保障の概念や対象及びその理念 ③社会保障と財政 ④社会保険と社会扶助の関係 ⑤公的保険制度と民間保険制度の関係 ⑥社会保障制度の体系 ⑦諸外国における社会保障制度